

令和5年度 数学B シラバス

対象教科・科目	単位数	学年・学級
数学B	2	第2学年

1. 学習の到達目標等

学習の到達目標	数列, 統計的な推測について理解させ, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。
使用教科書・副教材等	数研出版「新編 数学B」, 「改訂版 3TRIAL数学II+B」

2. 学習計画

章	節	学習内容	時数	学習のねらい
数列	等差数列と等比数列	オリエンテーション 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 補充問題	1 2 2 2 3 1	数列やその一般項の表し方について理解する。また, 基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し, それらの和を求められるようにする。また, これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。
	いろいろな数列	6. 和の記号 Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和 補充問題	4 3 2 1	和の記号 Σ の表し方や性質を理解し, 活用できるようにする。また, いろいろな数列について, その一般項や和を求めたり, 和から一般項を求めたりできるようにする。
	漸化式と数学的帰納法	9. 漸化式 10. 数学的帰納法 補充問題 章末問題	4 5 1 2	数列の帰納的な定義について理解し, 漸化式から一般項が求められるようにするとともに, 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また, 数学的帰納法の仕組みを理解し, 様々な命題の証明に活用できるようにする。
数学と社会生活	確率分布 統計的な推測	1. 数学を活用した問題 2. 社会の中にある数学 3. 変化をとらえる～平行移動～ 4. 変化をとらえる～回帰分析～ 補充問題 章末問題	8 8 8 8 1 2	社会生活などにおける問題を, 数学を活用して解決する意義について理解するとともに, 日常の事象や社会の事象などを数学化し, 数理的に問題を解決する方法を知り, 積極的に数学を活用する姿勢を培う。

3. 評価の観点, 内容及び評価方法

	評価の観点及び内容
知識・技能	数列, 統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 数学と社会生活の関わりについて認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考力・判断力・表現力	離散的な変化の規則性に着目し, 事象を数学的に表現し考察する力, 確率分布や標本分布の性質に着目し, 母集団の傾向を推測し判断したり, 標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力, 日常の事象や社会の事象を数学化し, 問題を解決したり, 解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む姿勢	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。